

令和元年度9月（第6回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和元年9月24日（火）午後1時30分から午後3時5分
場 所 雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室
出 席 者 ・山野義一教育長 ・前田眞一教育長職務代理者
・平山田鶴子委員 ・中村妙子委員 ・森下祐樹委員
・事務局 （下田教育次長、小松参事監兼総務課長、草野学校教育課長
柴崎生涯学習課長、本田スポーツ振興課長
総務課森田参事補（書記）

欠 席 者 なし

会議日程

第1 前回会議録の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 その他

雲仙市教育大綱について

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和元年度9月（第6回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和元年度第5回定例会会議録署名委員に前田委員及び中村委員を指名する。

事務局

- ・定例会会議録を読み上げ提案する。

教育長

- ・意見、質問がないことから第5回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

(1) 教育長報告

教育長が、月例報告について説明・報告する。

教育長及び事務局

- ・雲仙市議会定例会の一般質問及び答弁要旨について報告する。

(2) 各課の事業等の取組状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・9/22頃台風が発生したが、学校に被害等があった場合、教育委員会においてどのような体制をとられているか。

事務局

- ・台風が来る前の9/20（金）に学校に対してメールにて通知を出し、何かあった際は教育委員会へ報告するようお知らせしている。9/23（秋分の日）は教育次長及び総務課長が出勤し、各学校からの通報に対し対応した。翌9/24は総務課の作業員により早朝から倒木等の対応をしている。

委員

- ・作業員は何名おり、普段どのような仕事をしているのか。

事務局

- ・作業員は4名おり、4名体制になった経緯として、学校用務員が当初フルタイムで勤務されていたが、短時間勤務（1日5.25時間）に切り替わったことにより、学校の美化活動や簡単な修繕業務等は、作業員により実施することとなった。晴れた日は、学校において除草作業等の屋外での業務を行い、天気が悪い日は旧北串中学校内で大工作業等を行っている。

委員

- ・雲仙市の教育予算は令和2年度でどれくらいあるのか。また、例年予算を組む際に力をいれていること（テーマ）はあるのか。

事務局

- ・雲仙市全体の予算の約6～7%が教育予算である。来年度予算においては、ICTの取り組みとしてタブレット端末の導入の検討や図書購入費の増額を検討している。事務局が想定する予算規模としては、令和元年度18億4千万円、2年度37億5千万円、3年度35億3千万円、4年度以降は20億円弱が必要と見込んでいる。但し、地方交付税の縮減が始まっていることから、令和3～4年に、新小浜体育館の建設があり予算額としては多く見えるが、通常ベースの予算は今後減額されていくこととなる。

委員

- ・過去に学校職員は、フロッピーディスク等の媒体を自宅に持ち帰り仕事をしていたが、最近では、データ等の持ち帰りが厳しくなったと聞いている。現在の雲仙市はどうか。

事務局

- ・学校のデータは原則持ち出せないが、やむを得ず持ち帰る場合は学校長の許可を得るようにし、データ内の出席番号と氏名が分からないようにして持ち出すようにしている。

委員

- ・大きな学校では、職員室内でメールでのやり取りを行っていると聞いたことがあるが、雲仙市ではどうか。

事務局

- ・市内全ての学校教職員1人にパソコンが1台配備され、教職員同士でのメール（イントラネットによるメール）が可能となっている。

委員

- ・個人でメールアドレスを持っているのか。

事務局

- ・個人のメールアドレスは付与しておらず、各学校に3つ（校長、教諭、代表）付与している。統合型校務支援システム上では、学校・氏名を選択してメールを送信できるが、県内他市の学校に導入が進めば、その学校にもメールを送ることが可能となる。

委員

- ・就学時健康診断における特別支援教育の対象者への対応について説明を。

事務局

- ・以前は就学時健康診断時において、特別支援教育の対象者と思われる児童をリストアップしていたが、それでは遅いため、現在は3歳児検診で保健部局と連携し相談体制をとっている。支援が必要と思われる家庭に直接出向き働きかけている。

委員

- ・国見の天然記念物オキチモズクは、何もせずただ見守るだけなのか。

事務局

- ・本件における論文が色々出されているが、何をどうすればモズクが発生するのかははっきり分かっていない。長崎大学環境学部の先生を入れて旧国見町時代から保護活動を実施している。移植作業もやってきたが、上手くいかないのが現状である。国見町の東里自治会に「オキチモズクを守る会」があり、その方々の協力を頂きながら、見守りや藻の除去等を行っていただいている。

委員

- ・人権啓発活動の推進における、予算規模やどのようなことを行っているか説明を。

事務局

- ・予算規模としては20万円程度で、瑞宝太鼓の夢大使講演会が年に4回市内小中学校を回り、県の委託事業として実施している。その他、昨年「家庭教育7カ条」を制定し、図書館にその7カ条のテーマに沿ったコーナーを設け啓発を行っている。

委員

- ・愛の夢未来センターの視察にて、正面玄関付近の外階段の裏側について危ないと感じた。その後、柵等の対策を考えたのか。

事務局

- ・以前から危ないとの意見を頂いており、施設の建設部局には指摘をしているが、階段下には自動販売機を2基設置し、左右の階段下側面に展示用パネルを貼り付けることとし、中に入り込めないようにしている。

委員

- ・市内にある体育施設内に、体協等が所有する備品の保管について許可しているのか。

事務局

- ・体協に所属する各種団体が所有する大きな備品等（サッカーのゴールポスト等）は、正式に許可は出していないが、活動上必要であるため置いてもらっている。また、中学校の部活動等において社会体育施設を使用している場合で、簡易的な倉庫が必要な場合は、設置を許可しているケースもある。

委員

- ・スパリゾートマラソンについて今年度中止となったが、その後何か進捗があったか。

事務局

- ・今年度中止になった理由として、駐車場の問題と聞いている。但し、今年度以降中止になるのではなく、あくまで今年度のみ中止となった。

教育長

- ・市民運動会の競技申し込みが70%と聞いたが、どの時点で100%になるのか。

事務局

- ・当初9/20までを締め切りにしていたが、各種団体（自治会、婦人会、学校等）からの申し込みにおいて7割程度が提出されている状況である。既定の人数に達するよう働きかけをしたい。

(3) 各課からの報告

事務局

- ・台風17号(9/22頃)の被害状況について各課より説明する。
- ・総務課より、小中学校エアコン設置状況について説明する。
- ・総務課より、旧雲仙市立南串第一小学校諏訪の池分校解体に係る対応(案)及び検討事項について説明する

日程第3 その他

- 1、雲仙市教育大綱について説明する。
- 2、令和元年度長崎県市町村教育委員会研究大会(11/8開催)へ、前田委員と平山委員が参加することとし、併せて第一分科会(教育行政)に前田委員、第二分科会(生涯学習)に平山委員が参加することを確認する。
- 3、令和元年10月28日(月)午後1時30分から10月定例会を雲仙市千々石庁舎(教育委員会事務局)第2会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和元年度9月(第6回)雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。